

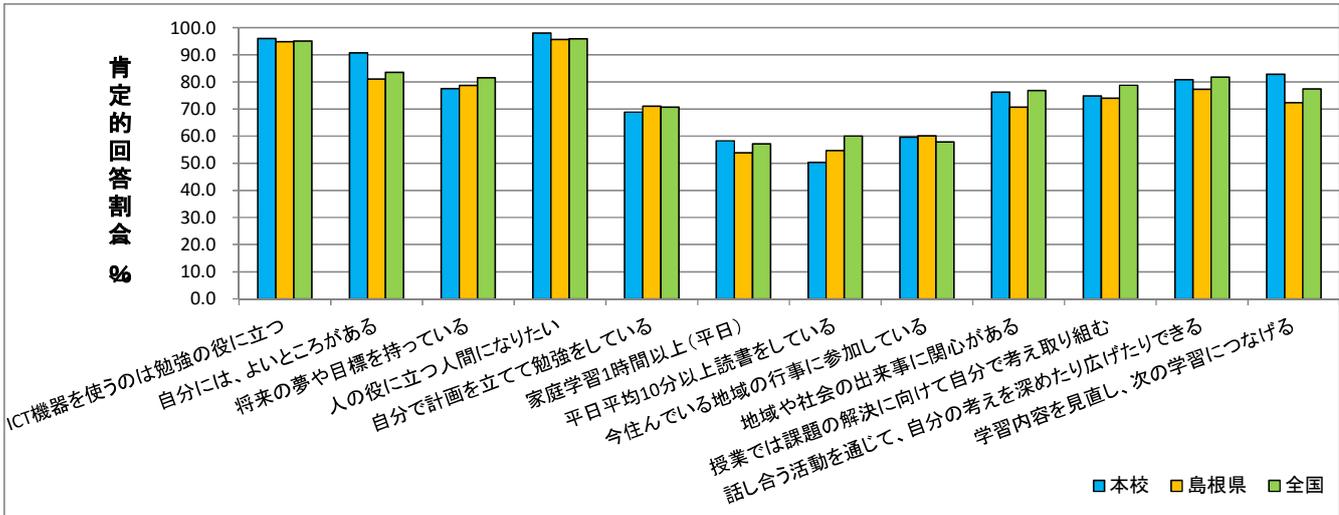
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○内容別に見てみると、どの内容も概ね良好である。 ○漢字や言葉などの知識はよく身につけている。 ●解答に必要な情報を見つけることや、記述式の問題では、複数の条件を満たして文章を書くことに課題がある。	・文章や図表グラフなどから必要な事柄に書き込み等をして取り出したり関係づけたりさせる機会を積極的に取り入れる。 ・条件(視点)を設けて作文等の文章を書く活動を積極的に設ける。
算数	○領域別に見てみると、どの内容もできている。 ●既習内容とつなげたり、計算の仕方の意味を図・言葉・式で理解したりすることに課題がある。	・問題文の中で分かっていることや問われていることを整理し、図や表にまとめて考えさせる活動を更にしていねいに行い定着を図る。

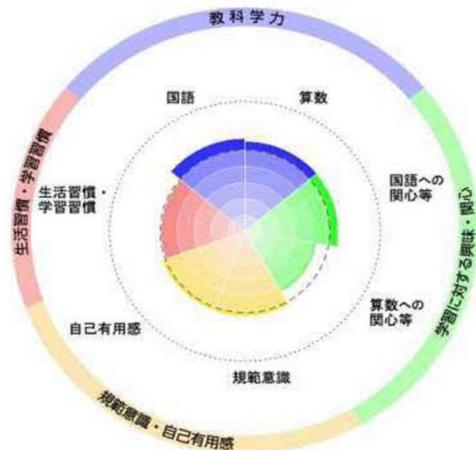
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○自分には、よいところがあるという自己肯定感が全体として高い傾向にある。 ○家庭学習の習慣が身につけており、学習内容を見直し次の学習につなげようとする主体性が育ちつつある。 ●読書の時間を確保することに課題がある。 ●算数の学習への苦手意識がみられる。	・読書の時間を意図的に設定して本に親しませていく。 ・算数の学習において、魅力ある教材作りや学習形態等を工夫する。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・研究に関わる取組として、「対話でつなげる」を切り口とした「授業づくり」を行っていく。
- ・一人一台のタブレット端末を活用した授業を積極的に行っていく。

【受検者数】

146 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。